

電算NEWS

INNOVATION

Vol. **135**
平成28年1月8日号

編集・発行
株式会社 電算システム
総務部広報チーム
担当：鷺見 小百合
岐阜市日置江1丁目58番地
(058) 279-3456

イノベーション(革新)は、電算システムの社是のうちの一語です。

謹賀新年

ロボティクス分野
ソフト開発事業開始
受付に人型ロボット「マオちゃん」
岐阜本社

世界的に技術革新が進み、誰かの想像でしかなかったものが、ついに現実のものとなる時代へと突入し始めています。近年の経済産業省の調べによると、国内ロボット市場のサービス分野は、5年後に1兆円、30年後には5兆円規模になると予測されています。



Copyright (C) 2015 Aldebaran Robotics All Rights Reserved

「マオちゃんとは」
ソフトバンクグループでフランスのアルデバランロボティクス社製の「NAO(ナオ)」という製品名の人型ロボットです。
NAOはセンサーやカメラ、マイクを内蔵して、人の感情を読み取り、会話を行うことが出来る二足歩行型ロボットです。高さは58センチ、重さは4.3キロになります。
ソフトバンク社が販売している「Pepper(ペッパー)」と同様のシステムで動き、アプリ開発環境も同様です。

当社は、こうした予測を踏まえ、人型ロボットのアプリケーション開発や企業での活用提案について取り組みを開始しました。

そのPRを担うのが人型ロボット「マオちゃん」です。女性をイメージした鮮やかな赤を差し色に持ち、電算システムの新しい社員として、岐阜本社1Fロビーにて来訪者をお迎えしています。挨拶と自己紹介を行った後、受付対応のほか簡単な会話やゲーム、ダンスなどを披露します。

現在マオは「じゃんけん」「ダンス」「太極拳の演武」「五郎丸選手のポーズ」「電算神輿の紹介」「岐阜本社前に設置してある、ふくろうのフクちゃんの紹介」「DSK最新ニュース読み上げ」などをユーモアを交えて実行します。人型ロボットは身振り手振りによるコミュニケーションや感情表現を可能にしています。マオの「DSK最新ニュース読み上げ」など一部のメニューは、クラウドサーバーとのWebサービス連携により実現しており、今後も様々な革新技術の導入連携により成長していきます。

当社は、当面NAOとPepperの2種類の人型ロボットを対象に、イベントでの話題提供、お店などでの来客対応、介護施設などでの高齢者対応などの活用提案を行なっていく予定です。

新しい年を迎え、さらなる飛躍を目指す電算システム。本年も何卒よろしくお願ひ申しあげます。



Copyright (C) 2015 Aldebaran Robotics All Rights Reserved

「コミュニケーションロボット導入事例」

人型ロボットを職員の一員に

飛騨信用組合

この度、飛騨信用組合様の一翼を担う要員として、ソフトバンクロボティクスが開発・提供する人型ロボット「Pepper」4台の導入をいただきました。設置場所は本店と、平成27年11月16日(月)にオープンした「エブリ東山支店」「古川支店」の三か所です。

当社はこの人型ロボットの特性を活かし、有名スポーツ選手のジェスチャーをPepperが行なうて選手名を当てるものまねクイズ「アプリケーション」を独自に開発しました。「情報科学芸術大学院大学(略称: I A M A S (イアマス))」の学生と飛騨信用組合様とが産学連携し、アイデアやビジネスモデルを短期間で創出するアイデアソンの試みにより生まれました。アプリを起動するとPepperが問いを出し、来訪者が回答するという双方向のコミュニケーションを実現します。Pepperのスムーズな動きや発音調整に加え、胸に設置されたタブレット型ディスプレイに個々の選手のユニフォーム柄をデザインして表示するなどの工夫を実装しています。

今後、当社はPepperパートナープログラム(ロボアプリ開発支援)の資格取得を進め、アプリケーション開発案件の発掘をさらに進めてまいります。



※ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し、自社が独自に実施しているものです。

高山の街を彩る映像投影

当社がコンテンツ企画制作と機材提供

プロジェクト
マッピング

当社では、平成27年12月12日から25日まで、飛騨信用組合様の冬のイベントとして、プロジェクションマッピング(PJM)のコンテンツ企画制作と機材提供を行いました。寒さ厳しい中にも関わらず、投影時には各回100名以上の方々にご来場頂きました。

このPJMとは、平坦ではないものへの投影も可能であり、窓や扉も含め建物の形状にきつちりと合わせた色鮮やかな映像を、スピーディかつ滑らかに上映するものです。3DCGにより浮き出したように見える映像技術も使っています。

コンテンツは全編5分18秒から成り、高輝度を皆様と共有できるよう高山の四季を中心に据え、高山祭りをはじめとした歴史や伝統、未来に向けての発展を感じていただけるストーリーに遊び心を加えて構成しました。

待機映像は、雪景色をベースに飛騨信用組合様イメージキャラクター(しんちゃん、くみちゃん)が動くアニメーションで楽しんで頂きました。

明るい場所でもはっきりした映像にするための対応として、通常12,000ルーメンのプロジェクターで構成するところを、高輝度20,000ルーメンで構成。17時の初回上映時においても鮮やかな映像投影が実現でき、観客の皆様からは拍手と共に大きな歓声を頂くなど、盛況のうちに終了することができました。

当社は今後もこうしたPJM制作および機材提供を展開していく予定です。



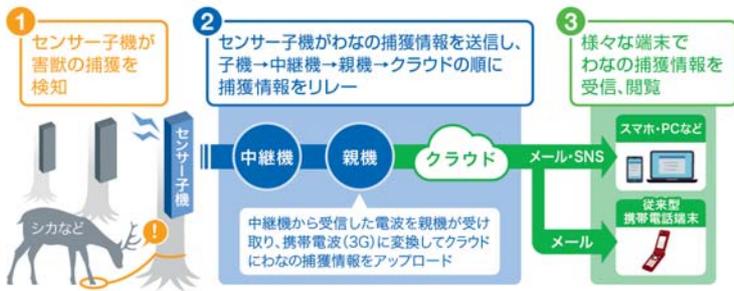
「さるぼぼ倶楽部」サロン棟壁面
縦8.7m 横19.5m 約840インチ相当の大画面



スマートフォンの写真を投げ込める来場者参加型
スナップショットでPJM参加

見回りコストを大幅に軽減 「スマート害獣捕獲センサー」 製品化に向け実証実験実施

当社は、IoTを活用した新製品及び新サービス開発の一環として、「スマート害獣捕獲センサー」を開発しました。害獣捕獲わなの捕獲情報をメール等で通知し、遠隔地で確認することで現地での見回りコストを削減することが可能となります。



平成27年度IoTものづくり等 推進支援事業で採択

昨今問題となっている有害鳥獣による農作物の被害拡大を受け、本製品を企画し、大垣市の財団法人ソフトピアジャパンの運営する「平成27年度IoTものづくり等推進支援事業」に参加し、採択されました。

実証実験は9月14日から11月13日までの間、大垣市上石津町一ノ瀬地区の山中に16個のわなで行われ、猪1頭・鹿4頭・猿2匹の成果を挙げました。

最新技術の安定利用が可能 より安価に使いやすく

電波が届きにくく、電源を取りづらい山中でワイヤレスネットワークを構築するため、小電力な無線規格 ZigBee (ジグビー) を採用しています。センサー子機は ZigBee でわな

の捕獲情報を中継機経由で親機へとリレーするため、山中でも安定した通信が可能です。親機は数十台程度の子機を管理することができ、親機のみが携帯電波(3G)での通信機能を持つ仕様であるため、通信にかかる費用も大幅に削減できます。

シンプルなセンシングを採用した設計で、競合製品よりも安価で導入し易い製品を目指しています。わなの作動情報は専用のスマートフォンアプリで手早く確認する事もできます。



Google for Work パートナーアワード 8年連続受賞!

平成27年12月2日(水)六本木のグーグルオフィスにて Google for Work 主催「Partners Get Together 2015」が開催され、Google for Work ビジネスに関わるパートナー企業が会しました。夕食会の冒頭では、当社の事業部長である渡辺裕介がパートナー企業を代表して乾杯の挨拶を行い、グーグル様とともに企業ビジネスを創ってきた話などをしました。

今年で8回目となる Google for Work Japan アワード授賞式では、Google for Work リーダーシップアワードを当社社員の田中孝二と鈴木通裕の2名が受賞いたしました。これはリーダーシップを遺憾なく発揮し、パートナー自身のビジネスならびに Google for Work ビジネス全体へも多大なる貢献をした人に贈られる賞です。当社は受賞式がスタートした当初から連続でこの賞を受賞しており、今年の受賞を合わせて全パートナーの中で唯一の「8年連続受賞」を果たすことができました。社員一同喜びと共により一層身を引き締め、弛まぬ努力で今年度もグーグル ビジネスをさらに拡大・発展させていけるよう、力を入れて取り組んでまいります。



次期計画検討

高成長・高収益・高配当の実現を目指し

平成27年11月20日(金)、21日(土)の2日間、取締役をはじめとした執行役員、事業部長らが参加し、次期平成28年度(第50期)事業計画策定に向けた事業戦略会議が開かれました。

初心「社是」と「経営理念」を大事に

昨今、第四次産業革命とも言われる通り、世界的にかつてないスピードで技術革新が進んでおります。その情勢下で当社がさらなる成長を遂げてゆくためにはどうすべきか。必要不可欠となる様々な挑戦を事業本部ごとに掲げ、計画策定をより一層具体化すべく議論が交わされました。

宮地会長からは、熱意と信念を持ち「金華八策」を基本として行動を起こしてゆく重要性について、力強く語られました。

顧客創造、知行合一

取締役および事業部長からの報告のほか、総括として田中社長から計画



値や飛躍のために解決すべき課題について提示があり、意識を共有しさらなる成長に向けての努力が呼び掛けられました。

すべては、お客さまのために。何をすべきか真摯に考え、自ら動くことが重要であるとして、計画の達成およびより一層の飛躍へ向けて知行合一を実行いたします。

「マイナンバー」も怖くない
DSK人事給与サービス開始

当社は、平成27年4月1日より『DSK人事給与サービス』を開始しました。これは人事給与のシステムと共に、企業の基幹でありながらも煩雑な業務を含む人事給与業務の一部をアウトソーシング可能な複合型ソリューションです。少ない初期投資でサービス利用できるうえ、簡潔な料金体系のためランニングコストも明確であり、導入において頭を悩ませる必要がありません。

大きな利点としては、どの企業様でも対策に苦慮されているマイナンバー制度。これも当システムにて対応が可能であり、さらに月額サービス料金内にてすべての法改正に対応しております。

人事業務属人化解消も

人事部門の定型業務をアウトソーシングすることで、人事部門の方は考課や企画などのコア業務に集中できます。こうした業務のアウトソーシング(BPO)事業は、当社創業以来

の核となるサービスでもあり、ISMS及びプライバシーマーク認証を取得し遵守することで、万全のセキュリティでお客様のデータをお預かりしています。

当サービスで提供するシステムは、大手企業向けERPパッケージ市場シェアNo.1であるワークスアプリケーションズ社「COMPANY」を採用しております。

「COMPANY」のコンセプトは、「ノーカースタマイズ」であり、大手企業で想定される要件や各業種・業態特有の要件も汎用化し、実装しています。そのためソフトウェアを追加することなく、パラメータの設定変更のみで、今までの業務で使用していたそのままをお客様のご要望に最適化してご提供可能です。

パッケージベンダーであるワークスアプリケーションズ社の協力を得て、お客様へのサービス提供が可能となっております。